

水落 静子（新潟県十日町市）

【 活動内容 】

・平成19年に設立された「東下組復興と将来を考える会」に参画し、廃校となった小学校の保健室を改築して加工施設として活用することを提案し、実現。加工グループ「東下組農産物加工所」の設立に尽力し、現在もその一員として、地元の山菜、野菜を原料とした漬物等を製造し、地域のイベントの訪問客向けやインターネットにより販売。



地元の山菜・野菜
を原料とした漬
物等を手づくり



「東下組おんなしょの会」の皆さん（前列左端が水落氏）

・代表を務める「東下組おんなしょの会」では、「うぶすなの家」（3年に1度開催される世界最大級の野外アート展「大地の芸術祭」の作品の一つ）で農家レストランの運営に関わって、地域の伝統食や農業体験を提供。レストランでは、芸術祭開催期間（50日間）中、1日200食が完売。また、平成29年までの10年間、山間地と平坦地との集落間交流活発化のための「山のごったく祭」を開催し、この取組は集落を越えて健康、暮らし、福祉などについて情報交換する場に展開。



「うぶすなの家」と、そこで提供される地域の伝統食

・地域に人を受け入れたいという思いから、十日町地域田舎体験推進協議会の会員として、地域内の空き家をリフォームして学生を受け入れる活動（越後田舎体験等）に令和元年より参画。

【 十日町市の発展のために 】

・多くの活動を通し、住み慣れたところで生涯楽しく生活できる地域を実現したいという思いが芽生え、平成29年から十日町市議会議員を務め、今年2期目を迎えた。